

(令和6年(2024年)3月5日)

令和5年度(2023年度)第1回エゾシカ肉品質管理のための検討懇話会 議事録(概要版)

- 1 日時 令和6年(2024年)1月31日(水)10時00分~12時00分
- 2 開催場所 道庁12階 環境生活部1号会議室
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
- 4 議題
(1) エゾシカ肉品質管理向上に向けた課題等について
(2) その他

議 題

- (1) エゾシカ肉品質管理向上に向けた課題等について
- ・ エゾシカ肉品質向上に係る取組
 - ・ エゾシカ肉品質向上・流通拡大の取組の展開
 - ・ エゾシカ肉品質管理マニュアルの策定について
事務局から、エゾシカ肉品質向上に係る取組の方向性、今後の取組予定について説明。
 - ・ エゾシカ肉品質向上に関する調査中間報告
エゾシカ肉品質向上に関する調査を受託するエゾシカ協会の松浦事務局長及び本事業に関して協力体制にある道総研の亀井研究主任から、事業の中間報告について説明。

【参考】

- ・ エゾシカ肉品質向上の取組に関するアンケート調査結果
- ・ エゾシカ有効活用の取組(令和5年度)について
- ・ わかやまジビエ肉質等級制度について
- ・ 「エゾシカ緊急対策期間」の設定について
事務局から、直近の道の取り組むエゾシカ対策、肉質向上に係る取組における他県先行事例について説明。

2 結果概要

○構成員からの意見

- ・ 調査事業を経て、これまで各施設において個体の性状から推測で性別、年齢等の把握から見た目等による肉質の判断を行ってきたが、科学的見地が加わり、肉質向上の確実な底上げができ、成果が期待される取組と考える。
- ・ エゾシカの取扱いは施設によって差が激しい。「品質管理マニュアル」が品質向上の観点で「エゾシカ衛生処理マニュアル」を補完するものとなればよい。
- ・ マニュアル策定にあたっての起点要因には、農林業被害や交通事故等による人との軋轢についても追加頂きたい。
- ・ マニュアルの方向性については、まだ、どのようになるか詳細が未定なので、取組全体を包含する文言で整理された方が良い。

3 次年度の動き

○事務局から

- ・ 令和6年度は2回の開催を予定。
- ・ 開催時期等は、調査事業の進捗状況をふまえ、時期・内容を整理の上、お知らせする。

以 上

第1回 エゾシカ肉品質管理のための検討懇話会 出席者名簿

日時：令和6年1月31日（水）10:00～
場所：道庁12階 環境生活部1号会議室

1 構成員

エゾシカ食肉事業協同組合 代表理事	曾我部 元 親
酪農学園大学 准教授	伊吾田 宏 正
北海道大学大学院 農学研究院 准教授	若 松 純 一
地方独立行政法人 北海道立研究機構エネルギー・環境・ 地質研究所 研究主任	亀 井 利 活
一般社団法人 エゾシカ協会 事務局長	松 浦 友紀子
株式会社アイマトン 取締役	黒 島 俊 也

2 事務局

環境生活部自然環境局野生動物対策課	エゾシカ担当課長	高杉 聖
	主査	大和田 望
	主査	羽二生 浩孝
	主事	松橋 廉